

【日本産科婦人科学会周産期データベースを用いた妊婦の体重と妊娠合併症頻度の関連についての検討】

2016年1月1日より2020年12月31日までの間に分娩となり、日本産科婦人科学会の周産期登録データベースに登録された全ての患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科では「日本産科婦人科学会周産期データベースを用いた妊婦の体重と妊娠合併症頻度の関連についての検討」という研究を行います。この研究は、2016年1月1日より2020年12月31日までの間に分娩となり、日本産科婦人科学会の周産期登録データベースに登録された全ての患者さんの非妊時体重と分娩時体重や早産を含む産科合併症等についての情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。分娩時に特に拒否されていない場合は、データベースにすでに登録をされています。その情報は本研究で用いる際には匿名加工化されているため、新たな個人情報を取り扱うことはありません。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお、この研究で用いるデータベースは前述通り既に匿名加工化されており、個人を特定することができないため、ご参加取り消しの要望には応じられません。ご了承ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：日本産科婦人科学会周産期データベースを用いた妊婦の体重と妊娠合併症頻度の関連についての検討

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日 ～ 2025年3月31日

調査対象期間：2016年1月1日 ～ 2020年12月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科 林昌子

(2) 研究の意義、目的について

妊娠前の体格や妊娠中の体重増加量と、早産などの妊娠合併症頻度の関連を明らかにすることが、リスク評価の層別化に役立つとともに、適切な食事指導の一助となることが期待されます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

日本産科婦人科学会周産期委員会がまとめている、全国の2次～3次施設を中心とした全国389施設（2020年時点）が登録に参加している周産期登録データベースを用いて本研究を行います。妊娠前の体格や妊娠中の体重増加量と、早産などの妊娠合併症の関連について検討し、本邦の早産以外の合併症の無い妊婦について、初産・経産別に最も早産率の低い体重増加量を調べます。体重増加量と妊娠合併症の頻度の関連も加味し、早産予防に重きを置いた妊娠前体格別の至適体重増加量について検討します。さらに、初産・経産の差が海外の報告と同様であるかを検証します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：女性診療科・産科 板垣望央

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp